

ふるさとに恵みを与える川「だんぐがわ壇具川」

下関市の旧長府城下町を左右にみて周防灘に注ぐ壇具川は、神功皇后が豊浦宮で祭事を行ったとき、祭壇に用いた道具をこの川に流したという故事に名前を由来するといわれている。

江戸時代には米倉が建ち並び、長府藩内の年貢米を積んだ舟が行き来する川でもあった。

現在はホタル護岸を設置し、ホタルの幼虫を放すほか、菖蒲を植栽している。付近には文化財、水族館、美術館、博物館がならび、下関下の観光コースのルートとなっている。川岸は春は桜、初夏ともなれば柳並木にホタルが飛び交い、散策を楽しむ人にやすらぎとうるおいを与えている。



所在地 山口県下関市長府侍町
 イベント 天下の奇祭・数方庭祭（8月7～13日）、馬関まつり（8月）

